

平成 30 年 3 月期第 3 四半期決算
カンファレンスコール要旨（開発パイプラインの進捗状況）

開発パイプラインの進捗状況については、決算短信の 13 ページから 20 ページに記載しており、昨年 11 月 6 日の平成 30 年 3 月期第 2 四半期決算発表以降の変更点について説明します。

■平成 30 年 3 月期第 2 四半期決算発表（11 月 6 日）以降の進捗状況

<がん領域の開発品状況>

日本

○オブジーボ点滴静注

オブジーボは、昨年 12 月に悪性胸膜中皮腫を予定効能とする承認申請を行いました。オーファン指定を受けており、優先審査に指定されているため、年内の承認取得を見込んでいます。

○ヤーボイ点滴静注液

ヤーボイは、オブジーボとの併用による腎細胞がんの一次治療を対象として、1 月 15 日に承認申請を行いました。

○ONO-7701

IDO1 阻害剤「ONO-7701」は、オブジーボとの併用による悪性黒色腫を対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

○ONO-4482/Relatlimab

抗 LAG-3 抗体「ONO-4482」は、オブジーボとの併用による悪性黒色腫を対象としたフェーズⅠ/Ⅱ試験を開始しました。

韓国・台湾

○オブジーボ点滴静注

オブジーボは、台湾において 2 レジメン以上の化学療法後の胃がんまたは食道胃接合部がんの効能・効果に関する追加承認を取得しました。

欧米

○オブジーボ点滴静注

オブジーボは、欧米において前立腺がんを対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。この試験はヤーボイとの併用による試験です。

<がん領域以外の開発品状況>

国内

○オノアクト点滴静注用

オノアクト点滴静注用は、敗血症に伴う頻脈性不整脈を対象としたフェーズⅡ/Ⅲ試験を開始しました。

○ONO-4059/Tirabrutinib

Btk 阻害剤「ONO-4059」は、健常成人を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。これは導出先のギリアド・サイエンシズ社が海外で行っている、シェーグレン症候群を対象にした臨床試験を今後は国内でも実施していくためのものです。

○ONO-8577

膀胱平滑筋弛緩作用を有する「ONO-8577」は、過活動膀胱を対象としたフェーズⅡ試験を実施していましたが、期待していた有効性が確認できなかったため、開発を中止しました。

海外

○ONO-4474

Trk 阻害剤「ONO-4474」は、変形性関節症を対象としたフェーズⅡ試験を実施していましたが、期待していた有効性が確認できなかったことなど戦略上の理由により、開発を中止しました。

以上